

⑤学校評価に係る公表資料

公表資料

令和元年8月30日

保護者の皆様

白山市立鳥越小学校
校長 森本 巖

令和元年度「学校教育活動アンケート（7月実施分）」についてのお知らせ

新涼の候、保護者の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、7月にお願いしました「学校教育活動アンケート」について、児童評価・教師評価と合わせて整理しましたのでご報告いたします。

質問項目ごとに状況を分析し、本校の教育目標である「やさしく思いやりにあふれ、自他の健康安全を心がけ、確かに学ぶ子を育てる」の実現を目指し、4つの重点において今後の取組を検討いたしました。

皆様からいただきましたご意見は、これからの教育活動に十分に活かしていきたいと考えております。今後とも教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

※数値は「A（そう思うなど）」と「B（どちらかと言えばそう思うなど）」の合計、（ ）は「A」の割合

1 アンケート結果と分析

（1）学校経営の充実（信頼される学校運営）

①学校は楽しいですか。	（児童）	93%	（66）
お父さんは、学校に行くことが楽しい。	（保護者）	93%	（67）
児童が楽しさを感じる学級経営に取り組んでいる。	（教師）	90%	（60）

目標や課題意識を持って取り組み、振り返ることを大切にした学級経営を進めており、このことが自己肯定感の高まり、ひいては学校生活の楽しさにつながっていると考えています。また、集会や縦割り活動など、全校の活動を通して、仲良く認め合える風土が作られてきています。

②困ったことがあったら、先生に相談できますか。	（児童）	89%	（44）
学校は、保護者の方が子どもさんのことで悩んでいるときに相談にのってくれる。	（保護者）	97%	（52）
児童の困り感や悩みに向き合っている。	（教師）	90%	（45）

相談体制は本校の課題でしたが、前年度と比較し改善されてきました。観察やオープンハートアンケートなどを通して児童理解に努めるとともに、気になるケースでは親身に面談、対話を行ってきた結果が出てきていると考えています。

（2）確かな学力の形成

③授業は、わかりやすいですか。	（児童）	95%	（64）
お父さんは、学校の授業が分かっている。	（保護者）	90%	（35）
分かる・できる授業を工夫している。	（教師）	90%	（70）

児童アンケートの肯定の割合が上昇しました。学校では児童を授業に主体的に参加させたり、学び合いで深めたりするように授業改善に努めています。また、繰り返しなどを通して、基礎的

な学習内容の定着を図っています。より楽しく達成感の持てる授業を目指します。

④低：宿題を忘れずにしていますか。

高：学年×10分+10分の家庭学習をしていますか。 (児 童) 95% (73)

お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。 (保護者) 78% (38)

家庭学習の習慣化を進めるため、家庭学習の手引きを活用し、働きかけている。
(教 師) 91% (44)

児童と保護者の評価の差が見られます。宿題にしっかり取り組める児童が多く、家庭学習強化週間では多くのパーフェクト賞(全ての日で目標達成)が見られました。一方で、「言わないとしない」という保護者の意見が散見されました。まだ、「自ら進んで」には至っていないことが、評価の差の要因と考えます。

(3) 豊かな心の育成

⑤低：友達にやさしくしていますか。

高：友達に対して思いやりの心で行動していますか。 (児 童) 100% (70)

お子さんは、思いやりの心で行動している。 (保護者) 96% (43)

道徳の授業を要とした道徳教育を推進し、児童に思いやりの心を育てている。
(教 師) 100% (63)

お互いを認め合う、「みるみるカード」の取組が定着し、友達が喜ぶ言葉かけや行動ができるようになってきています。しかし、思いやりのない言動や自己中心的な言動がもとになり、いさかいになったケースもありました。引き続き「心を育てる」ことに努める必要があります。

⑥低：自分からだれにでもあいさつしていますか。

高：だれに対しても自分からあいさつしていますか。 (児 童) 100% (71)

お子さんは、家庭・地域の人に自分から挨拶をしている。(保護者) 90% (41)

自発的な挨拶を促すよう場の設定や指導を工夫している。
(教 師) 90% (10)

登下校のあいさつやお客さんに出会ったときのあいさつ、お世話になった方への感謝の言葉など、高学年を中心に大きな声であいさつできる学校です。しかし、「自ら進んで」「誰にでも」という点では、できなかつたり声が小さくなつたりする児童は少なくありません。

(4) 健康な体の育成

⑦低：体育の時間やほかの時間に体をよく動かしていますか。 (児 童) 99% (76)

お子さんは、遊んだりスポーツをしたりして、日ごろから体を動かしている。
(保護者) 93% (60)

体育の時間やその他の時間の工夫で、一人一人の体力の増進に努めている。
(教 師) 100% (22)

体育の時間の3・5分間走により運動量の確保に努めています。また、今年から始めた、児童委員会によるハッピースポーツ体育祭は、全校で楽しく体を動かす機会として効果的でした。体力テストの結果は概ね良好であり、特に持久走(20mシャトルラン)は好結果でした。

- ⑧低：早寝・早起き・朝ごはんをしていますか。
 高：早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活をしていますか。
 (児童) 94% (61)
 お子さんは規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)を送っている。
 (保護者) 92% (47)
 元気カードやノーメディアデーなどの機会を活用して、規則正しい生活を指導している。
 (教師) 89% (33)

多くの児童が、早寝・早起き・朝ごはんを実行しているようですが、個別指導が必要な児童もいます。ノーメディアデーを継続してきましたが、ご家庭での様子はいかがでしょう。アンケート調査などでは、パソコンやスマホに長く触れる児童がいることが分かっています。

- ⑨給食を時間内に食べたり、好き嫌いしないで何でも食べたりしていますか。
 (児童) 89% (55)
 お子さんは、好き嫌がなく食事をしている。
 (保護者) 86% (41)
 給食を時間通り、残さず食べるように意識して指導している。(教師) 80% (50)

給食の残食はほとんどありません。また、時間内に食べ終わられる児童が増えています。栄養教諭の講話や保健給食委員会の活動を通して、栄養やマナー、食文化などをバランスよく学んでいます。有効な食育が展開できていると考えています。

(5) 開かれた学校

- ⑩ お家の人と学校の話をしていますか。(児童) 87% (55)
 学校は、教育目標や教育方針、学校の様子を分かりやすく伝えている。
 (保護者) 94% (35)
 おたよりや連絡帳等で児童や学校の様子を随時お知らせしている。
 (教師) 90% (40)

昨年度比較で肯定評価が上昇しています。各家庭において親子・家族の会話や触れ合いが大切にされていることを感じます。学校では、学校公開やお便り、HP更新など、積極的な情報発信に努めてきました。今後も学校の様子を発信していきたいと考えています。

2 保護者アンケート(記述)より

意見 4年教室前側ドアの鍵が閉まらない。4年教室だけでなくその他の教室なども点検し、もしもの時に余計な心配をせずにすむよう、修理・確認したことを子どもと保護者に知らせてください。
 ⇒7月に全教室のドアを点検し、その後、夏季休業中に修理しました。

3 学校関係者評価委員会より

(8/26に開催。学校評議員さんをはじめとした方々から出された質問や意見です。)

質問 学校評価アンケートの職員の結果が昨年より下がっているものが多いですが、原因はどのように考えますか。
 ⇒職員数が少ないため1人の変化でも割合への影響は大きくなります。
 自分に厳しく考え評価している場合があります。

質問 家庭学習の習慣化について、6年生で70分は厳しい場合があります。教科（国語・算数）に特化した学習だけでなく、オセロやクロスワード、ドッジボールの戦術を考えるなど、面白みのあるものや人として広く身に付けていったらよいことにも取り組ませてはどうですか。

⇒家庭学習の手引きなども使い、内容を広げていきます。

質問 子どもたちの地域貢献が心配です。例えば、資源回収では、保護者や児童の負担が増えているのではないのでしょうか。資源回収の目標が薄くなっており、子ども達の意欲がわく形で、別の地域貢献に取り組ませてはどうでしょうか。花壇の草むしりや公園のゴミ拾い等、時代に見合った地域貢献を考えてはどうでしょうか？

⇒育友会と連携し、課題として地域への思いやりをどうつくっていくか、継続して検討していきます。

質問 アンケート⑩「お家の人と学校の話をしていますか」が昨年より評価が上がっています。何か要因はありますか？

⇒学級通信が多く発行されており、それをもとに学校について話し合うことが増えているのではないのでしょうか。保護者がお子さんのことをよく見てくださっていると考えます。

質問 全校のアンケート結果だけでなく、学年別で傾向を捉えて分析することも必要なのではないのでしょうか。

⇒再度、結果を見直し、分析に取り組みます。

4 今後（9月以降）の重点と取組

学校評価の結果を受け、学校では4つの重点を設定し、以下のような取り組みを推進します。

重点1 学力向上

- ・月2回、朝自習で計算練習に取り組む日を設定し、計算力の底上げを目指します。
- ・児童が興味を示すようなプリントやワークシートを用意したり、進んで取り組めたことを適切に評価したりして、自分に必要な学習内容を考え、自ら進んで学習に取り組む子が増えるようにします。



重点2 授業力向上

- ・オリジナル授業デザインを基にした授業研究を推進し、知的好奇心を高めるための授業づくりに努めます。

重点3 思いやりの育成

- ・授業、学級の中で、自他のよい言動について互いに気づかせ、広めていく場や機会の設定に取り組み、友達を大切にすることを育てます。

重点4 体力向上

- ・体育課の授業では、3分間走・5分間走に取り組めます。
- ・各イベント時に、個々の目標を持たせて取り組ませます。継続して取り組んでいく中で、子どもたちが「できた」「楽しかった」という思いを持てる取り組みを目指します。